

健やかな心身支援部計画

1 目標

笑顔の登校、満足の下校

～「行きたい学校」と胸張って言えるドバイ日本人学校にしよう！～

2 基本方針

- (1) 優しく、温かいつながりを基本にし、自律性を身につけることのできる教育の推進
- (2) 相手の立場になって考え、行動できる児童生徒の育成
- (3) 保護者との連携・協力を図り、迅速・誠実で組織的な対応
- (4) 豊かな関わり合いの中でたくましい心と体を培う教育の推進

※自律性(セルフマネジメント能力)

「自律」とは、自分の立てた規律に従って自らの行いを規制すること。

3 本年度の重点

- (1) 基本的生活習慣の充実
(あいさつができる子 時間を守る子 整理整頓をする子)
- (2) 安全意識の向上
(廊下歩行、遊び時の事故防止)

4 具体的な指導計画

(1) 積極的な児童生徒指導の推進【心】

①「あいさつ・じかん・せいりせいとん」の推進

『あいさつ・へんじ』

- ・すすんで気持ちの良いあいさつができるようにする。(まずは、職員から)
- ・気持ちの良い返事ができるようにする。

(例) 「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」
「はじめまして」「失礼します」「失礼しました」等

『じかん』

- ・時計を意識しながら、計画的に行動できるようにする。

『せいりせいとん』

- ・整理整頓の第一歩として「くつならべ」ができるようにする。
- ・「後片付けタイム」を通して、日常の整理整頓意識を高め、整理整頓がきちんとできるようにする。

※後片付けタイム…帰りの会付近の時間を使って1分間程度の整理整頓活動を行うこと

②児童生徒に寄り添う指導

- ・児童生徒の行動の変化に気づくために、休み時間や昼食時など学習時間以外でも関わり合いを大切にしていこう姿勢を持つ。

③教科担任制を生かした全職員による児童・生徒の支援

- ・ふれあいアンケート等を活用し、各学年で気になる児童生徒の名前をあげ様子を伝える。その上で意見交換・共通理解を図り、全職員で児童生徒を支援していく。

④児童生徒会の活用

- ・『活力のある学校』するために、児童生徒が主体(主体変容)となって活動を推進していく。

⑤ その他（本年度の重点にかかわること）

- ・登下校時に職員がバス周辺に立ち、「おはよう」「さようなら」のあいさつを行い、学校全体であいさつのできる学校に取り組んでいく。
- ・時間を守ることを意識させるための声かけを行う。
(特にドバイタイム後や昼休み後の授業開始に間に合うように)
- ・定期的に安全点検を行い、事故防止に努める。
- ・月目標を健心部で作成し、具体的な取り組みは各学級で決めていく。

(2) 豊かな関わりの中での体力向上の推進【体】

①年間を通じた体力向上の推進

- ・「マラソンカード」を作成し継続して運動をする習慣を身につける。(発達段階に応じたカード)
- ・「さわやかタイム(1学期縄跳び、2学期ロック直実、3学期マラソン)」を行い体力の向上に努める。(2学期までに、練習用の扇の用意をお願いします。)

②「遊び」の推進

- ・ドバイタイム、昼休みでの子どもたちの「遊び」を促し、豊かな関わり合いの中で体力を向上に努める。

5 最後に

「行きたい学校」にしていくには、「帰りたい家」「住みたい地域」が必要である。つまり、学校、家庭、地域が協力して、子どもたちの健やかな成長を見守っていくことが大切である。